

福祉サービス第三者評価 放課後児童健全育成事業版報告書 基本情報

①第三者評価機関名

株式会社ウエルビー

②施設・事業所情報

名称：清瀬市立 中清戸第1・第2学童クラブ	代表者氏名：主任 青山 純子
所在地：東京都清瀬市中清戸1-556-1	TEL：042-493-3940
利用者数：77名	
〔施設・事業所の概要〕	
開設年月日：昭和52年	
経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロ	
職員数	常勤職員：4名 非常勤職員：3名
専門職員	（専門職の名称） 放課後児童支援員：7名
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）

③理念・基本方針

「理念」

- 「こども」「保護者」「支援員」みんなが主役である。
- 子どもの発達段階に応じた主体的な遊びを通じて自主性、社会性、創造性を伸ばすことができるように支援をしていく
- 子どもを中心に保護者と支援員がともに考え、共有しながら一緒に子育てする場を運営する。
- 子どもが健やかに成長していくこと、異年齢のこどもたちや障害を持った子どもたちと一緒に生活し、どの子ども大切にされる育成をめざす。

「基本方針」

- ★子どもが自分の思いを出せる場であること。みんなが自分をさげだしながら成長し合える場所であること。
- ★子ども同士で楽しく過ごせるように、サポートする。支援員は縁の下の子持ち子ども同士が主体性を持てるように手助けをする。
- ★各家庭の育児方針を受け止める。これが正解という育児はありません。各家庭の育児方法に耳を傾ける。
- ★事故を未然に防ぐために安全管理を徹底する。子どもも保護者も事故や怪我の心配をしなくても良い環境を整える。

④施設・事業所の特徴的な取組

- * 子どもたちが見通しをもって生活できるように月の予定や1日の予定、行事に向けての取り組み等、目に見えるように貼り出している。
- * 行事やあそび等でもなるべく子どもたちの意見を取り入れられるよう、話し合いをしたり、貼紙に記入してもらった工夫をしている。
- * 子どもたちが自分で考えて行動したり、思いを伝えたりできるようにサポートしている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間 2022年9月	
受審回数（前回の受審時期）	

⑥総評

◇特に評価の高い点

●経験豊富な主任を始めとする、職員の努力と受託された法人の適切な指導や対応がなされており、同時に行われた保護者へのアンケートからも「極めて満足」も含めた高い評価を受けており、経営形態の変更といった事態を乗り越えての安定した運営が行われていることが伺われます。学校併設ではなく、設置以来長年を経た施設ではありますが、その環境の下で、衛生や安全の配慮でも「おやつチェックリスト」等を考案してアレルギー症状の子どもへの十分な配慮を行う、今年度から始めた育成計画への取り組みも行っています。「子どもたちが自分で考えて行動したり、思いを伝えたりできるように」サポートしていくことに努めていくようにしています。

◇改善を求められる点

●今回の職員へのアンケートでは施設の老朽化やトイレの数、埃への対策等、環境面での指摘が数多くありました。確かに建築後長年が経過しており、都度改良や耐震工事、感染防止の対策が施されているとのことですが、トイレ等の問題ではプライバシーや羞恥心への配慮といった点でも改善が必要ではないかと思われます。また、これは当クラブだけで感じられることではありませんが、主任や職員の努力で運営に関して非常に優れた取り組みが実施されています。それらを保護者や地域の方々、行政等に効果的に発信していく姿勢も必要ではないかと思われます。ただ「安全に過ごせる」所だけでなく、その中で、どのように工夫して安全に楽しく過ごせるように実践しているのかをアピールしていくことが保護者や子どもだけでなく、職員にとってもモチベーションのアップにつながるのではと思われます。